

2018 年度 学生生活に関するアンケート(概要版)

埼玉県立大学 学生支援委員会

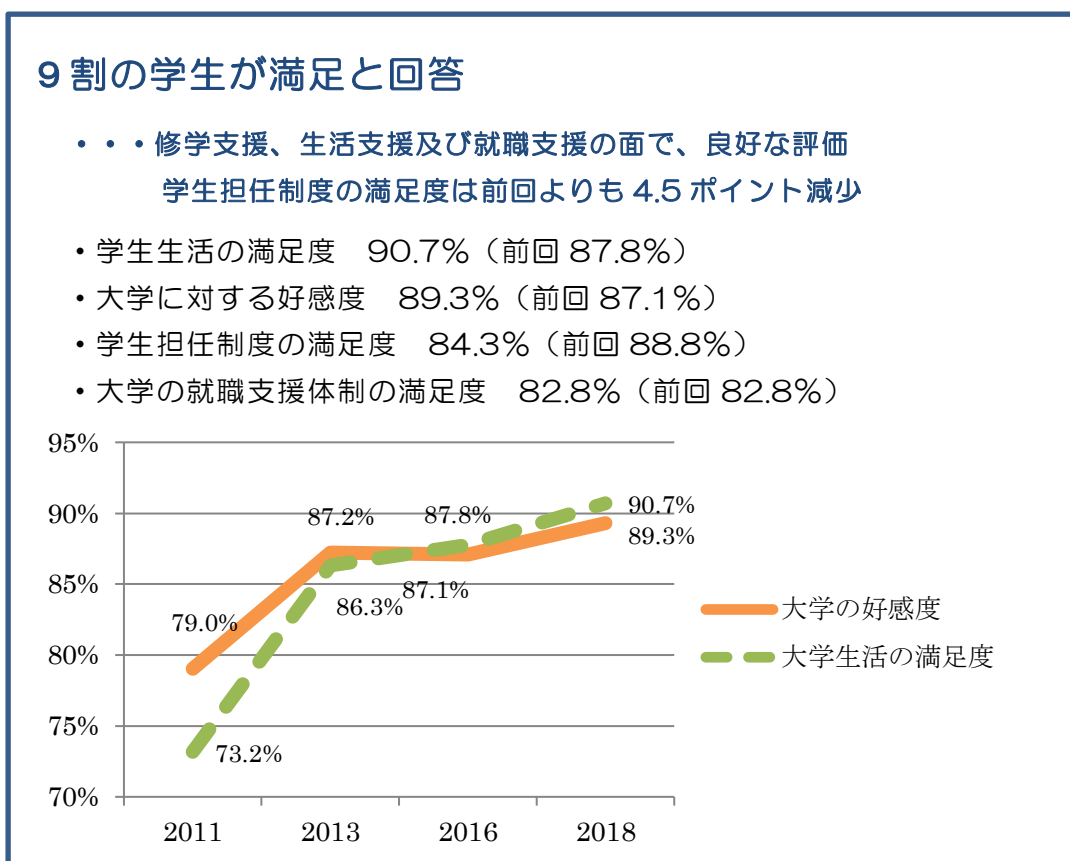
〈実施概要〉

「学生生活に関するアンケート」は、学部・研究科の全学生を対象に実施した（前回は 2016 年度に実施）。

「2018 年度 学生生活に関するアンケート」は、1,768 名を対象に 2019 年 1 月 7 日～3 月 31 日の期間に実施し、回答者数は 938 名、回答率は 53.1%（前回 67.4%）であった。

調査は、修学環境、学生生活支援、就職支援対策の満足度等、55 項目について、大学の e-Learning システム「WebClass」による回答形式で行った。

〈まとめ〉



（結果）

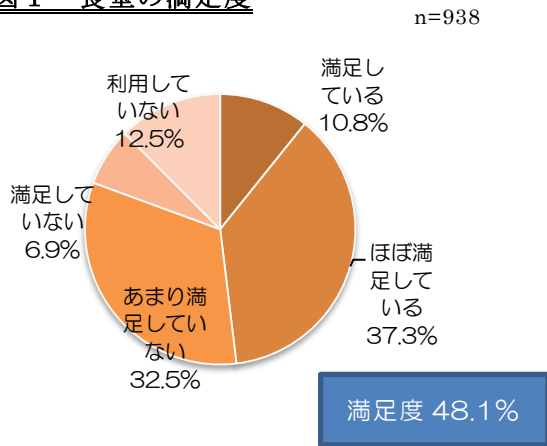
- 1 修学環境について 2 ページ
- 2 悩みや経済状況について 4 ページ
- 3 課外活動、大学祭等への参加状況について 6 ページ
- 4 学生担任制度、学年間交流について 8 ページ
- 5 就職支援について 10 ページ
- 6 学生生活全般に対する満足度と大学に対する好感度 11 ページ

〈結果〉

1. 修学環境について

食堂については、満足度が48.1%であったが、前回よりも満足度は0.9ポイント上がった。その他の施設についても、満足度は高い傾向にある。

図1 食堂の満足度



満足していない理由（複数回答）

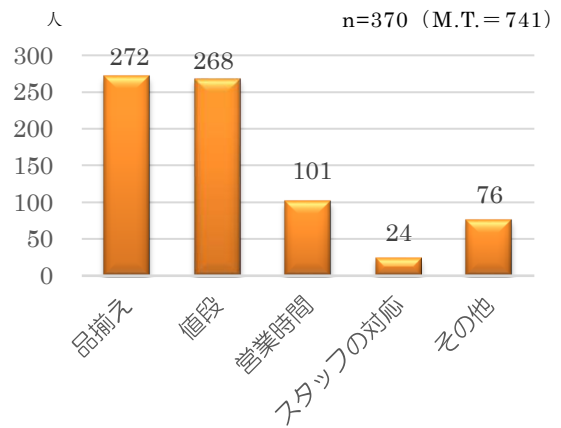
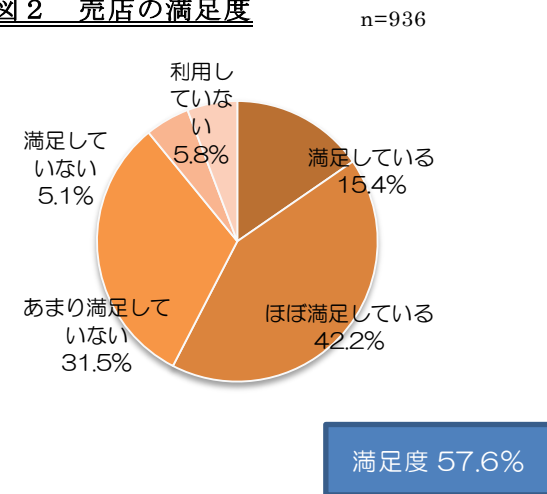


図2 売店の満足度



満足していない理由（複数回答）

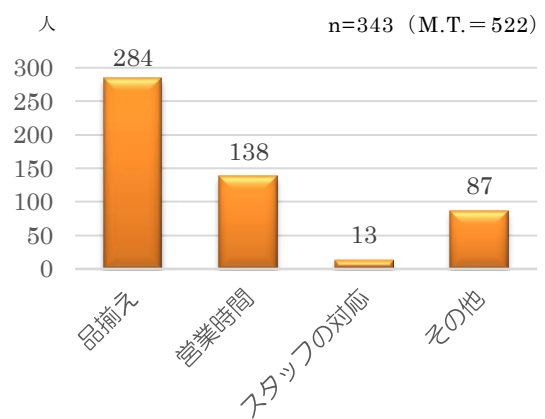
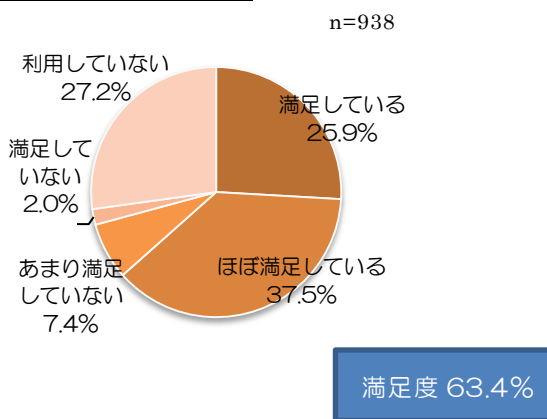


図3 書店の満足度



満足していない理由（複数回答）

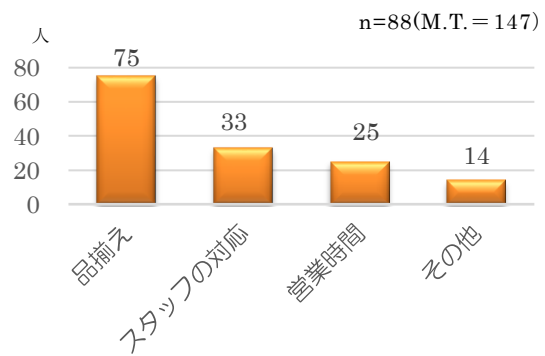
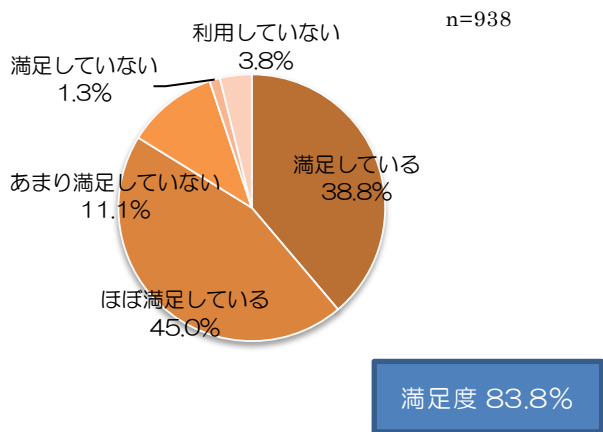


図4 情報センター（図書館含む）の満足度



満足していない理由（複数回答）

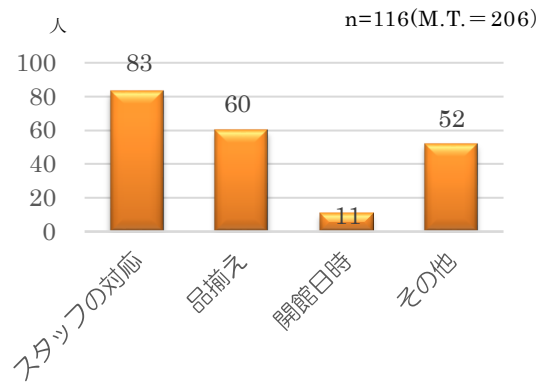
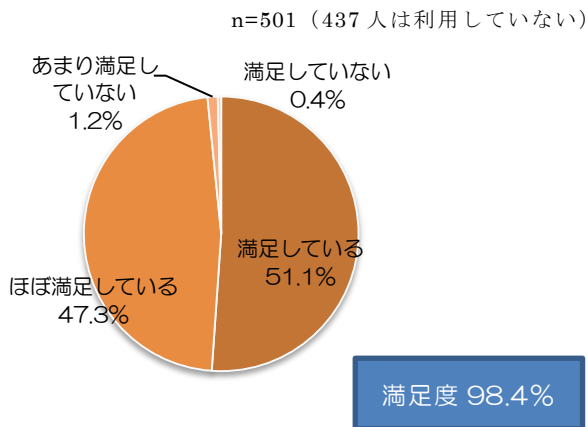
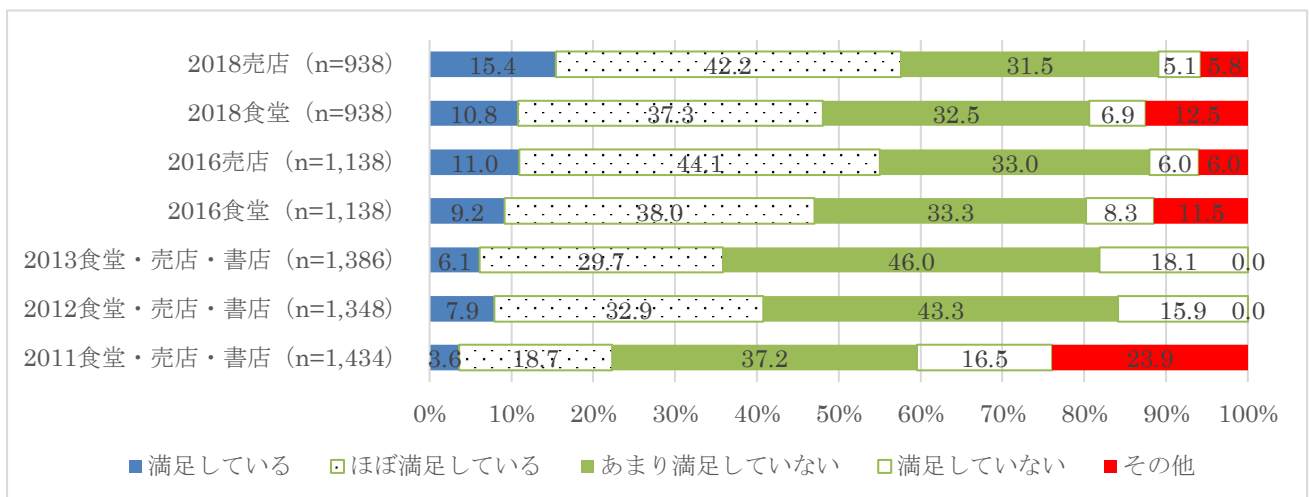


図5 保健センターの満足度



修学環境の満足度の推移

	2013	2016	2018
食堂		47.2%	48.1%
売店	35.8%	55.1%	57.6%
書店		65.6%	63.4%
情報センター	76.4%	75.1%	83.8%
保健センター	91.9%	96.6%	98.4%



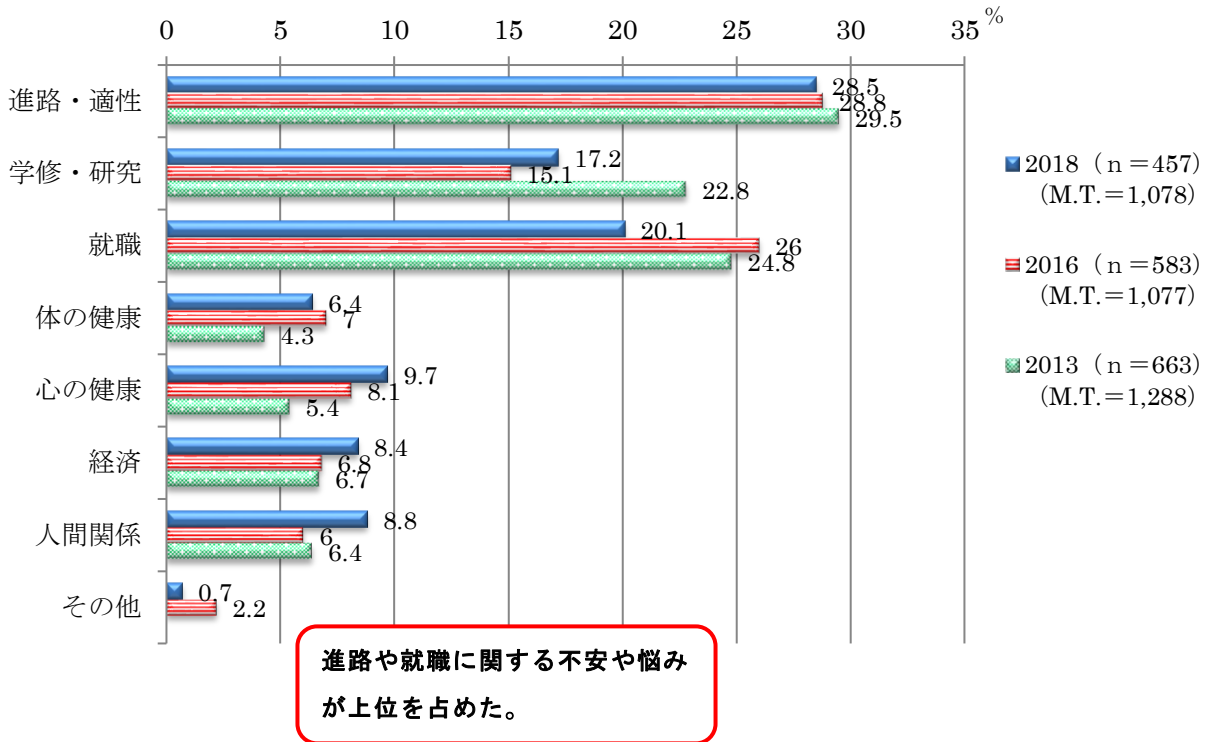
2. 悩みや経済状況について

①悩み

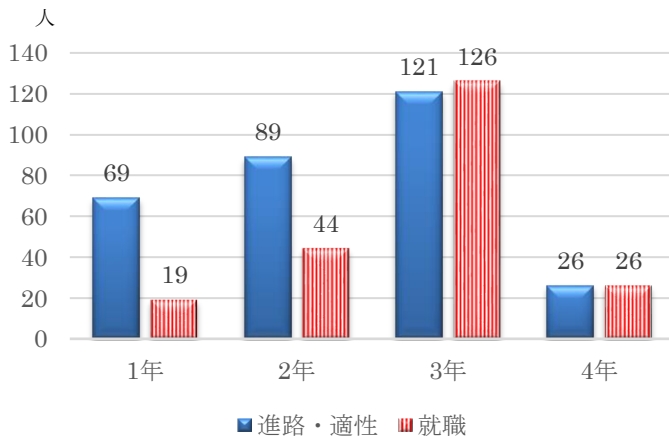
「不安や悩みがある」と回答した学生は全体の 48.8%と前回調査より 2.7 ポイント減少した。(2016 年度調査 51.5%)。

また、該当する不安や悩みは図 6 のとおりであった。相談相手として、学科の友人、家族、学外の友人や先輩を挙げた学生が多かった。

図 6 学生が抱えている悩み (複数回答可)



進路や就職に悩みを抱える学生 (学年別)



②経済状況

「授業料等の納付について」親の収入から納付していると回答した学生は全体の70.3%（前回72.2%）、奨学金による納付が23.0%（前回20.8%）であった。また、アルバイトをしていると回答した学生は、全体の93.1%（前回89.7%）であった。

図7 授業料の納付の状況

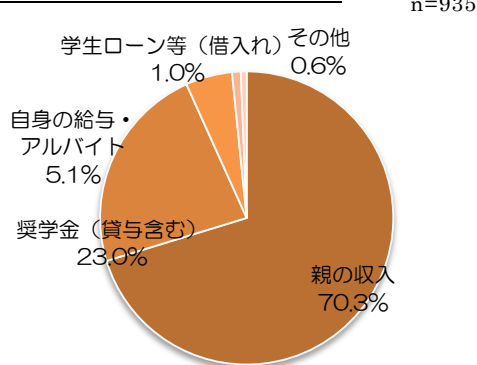
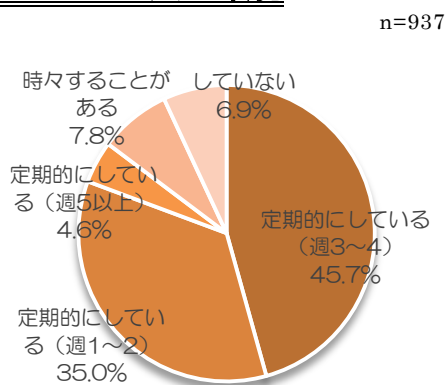


図8 アルバイトの状況



アルバイトをして
いる学生 93.1%

週5日以上アルバイトをしている学生は、4.6%
(2016年度調査 3.5% 1.1ポイント増加)

3. 課外活動、大学祭等への参加状況について

①サークル、大学祭について

サークルの加入率は 63.2%、大学祭の参加率は前回調査より 8.1 ポイント減少し 66.9%であった。

図 9 サークルの加入状況

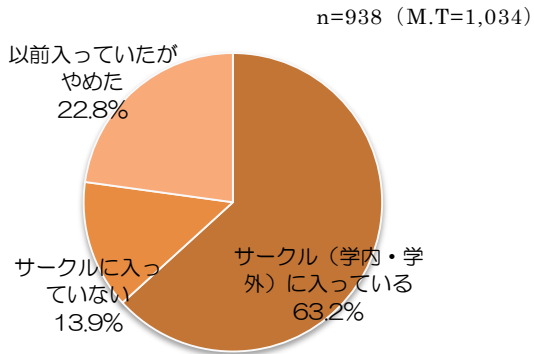
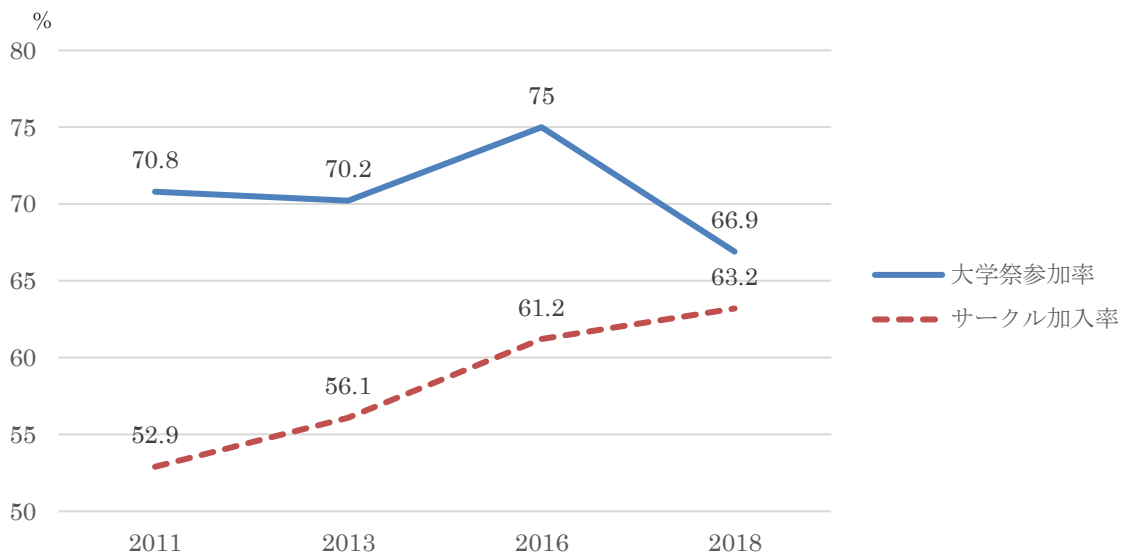
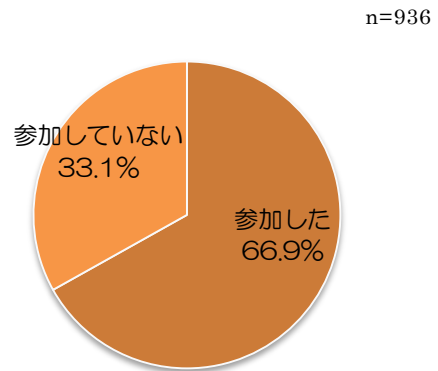


図 10 大学祭への参加状況

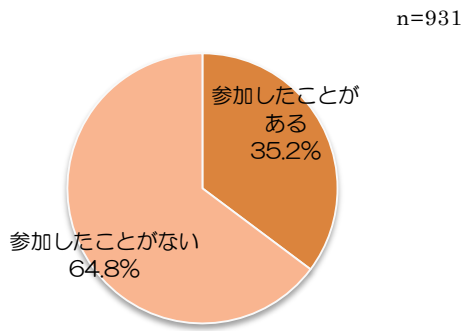


②ボランティアについて

大学入学後、ボランティアを行った学生は 35.2%であった。活動分野は、「幼児・児童支援」が最多、次いで「地域活動」、「障害者支援」であった。

ボランティア活動をしていない理由としては、「興味・関心が薄い」が 57.3%、「学業との両立が困難」が 29.5%であった。

図 11 ボランティアの参加状況（大学入学後）



活動内容

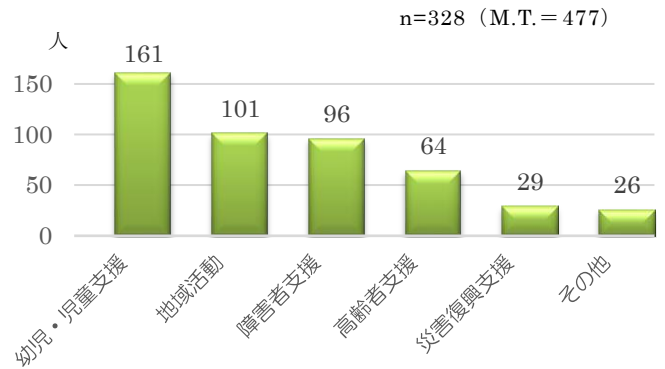
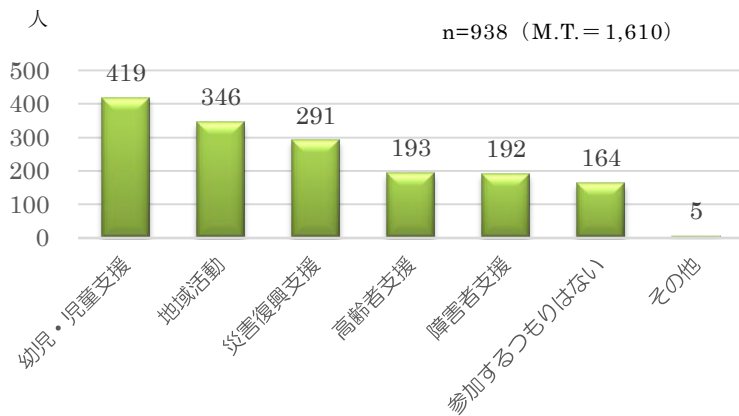


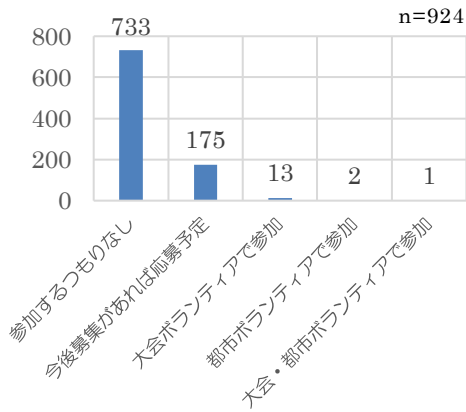
図 12 今後参加したいボランティア活動



大学入学後、ボランティア活動を行っていない学生は、64.8%。
 今後、幼児・児童支援、地域活動、災害復興支援等のボランティアに参加したいと考えている学生が多かった。

【東京オリンピック・パラリンピックのボランティアの参加】

参加予定があると回答したのは 16 名であった。



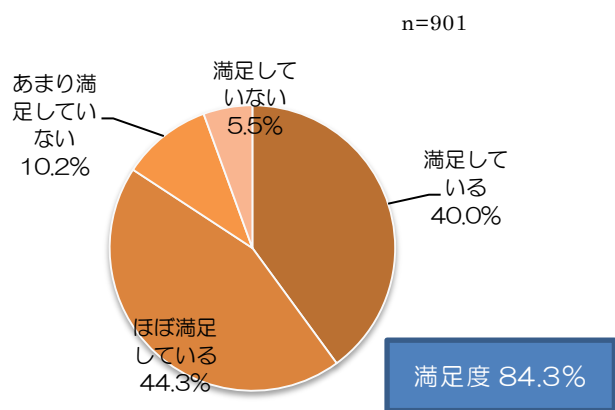
4. 学生担任制度、学年間交流について

① 学生担任について

学生担任制度の質問は学部生を対象に行った（対象者 1,684 名 回答者数 913 名、回答率は 54.2%）。

学生担任制度の満足度は、84.3%と高い評価ではあったが、前回調査よりも 4.5 ポイントのマイナスとなった。

図 13 学生担任制度の満足度



満足していない理由（複数回答）

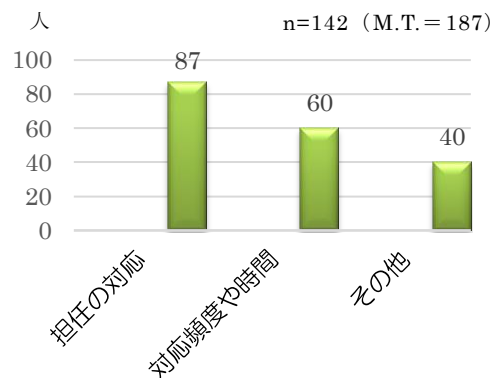
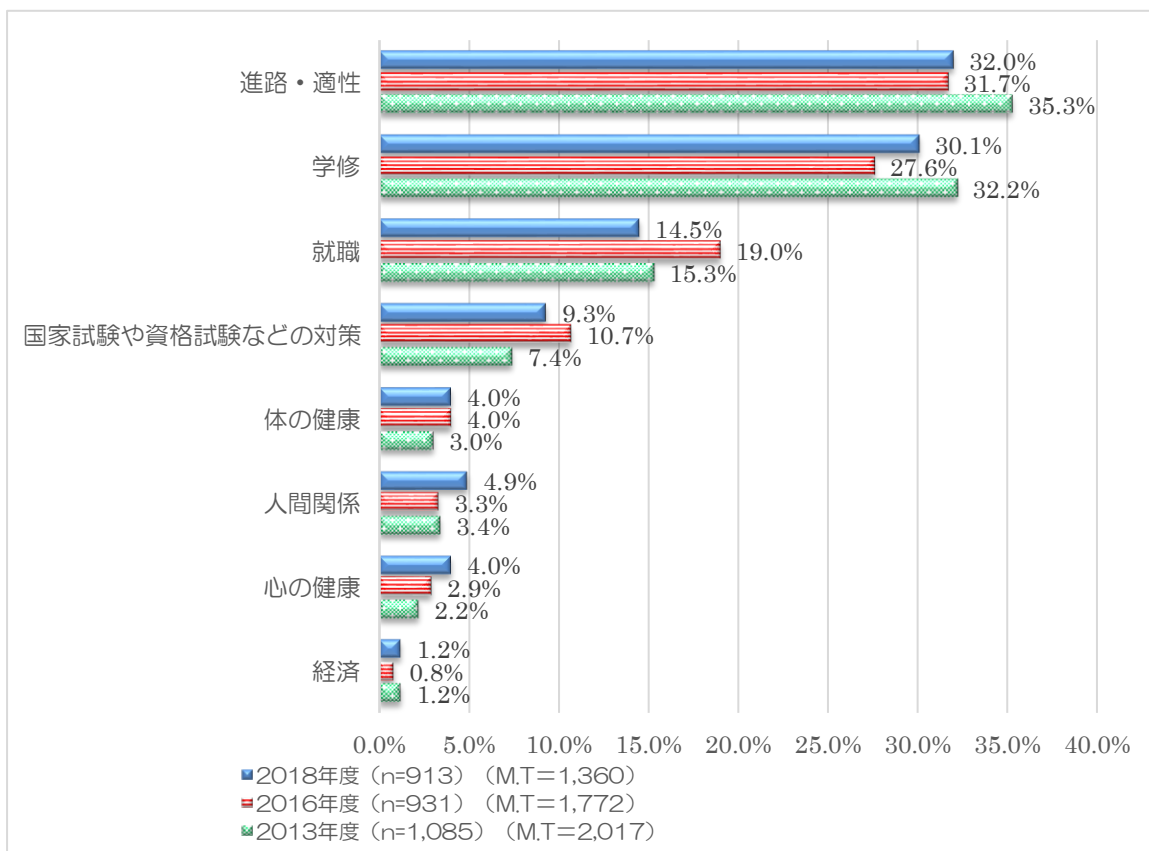


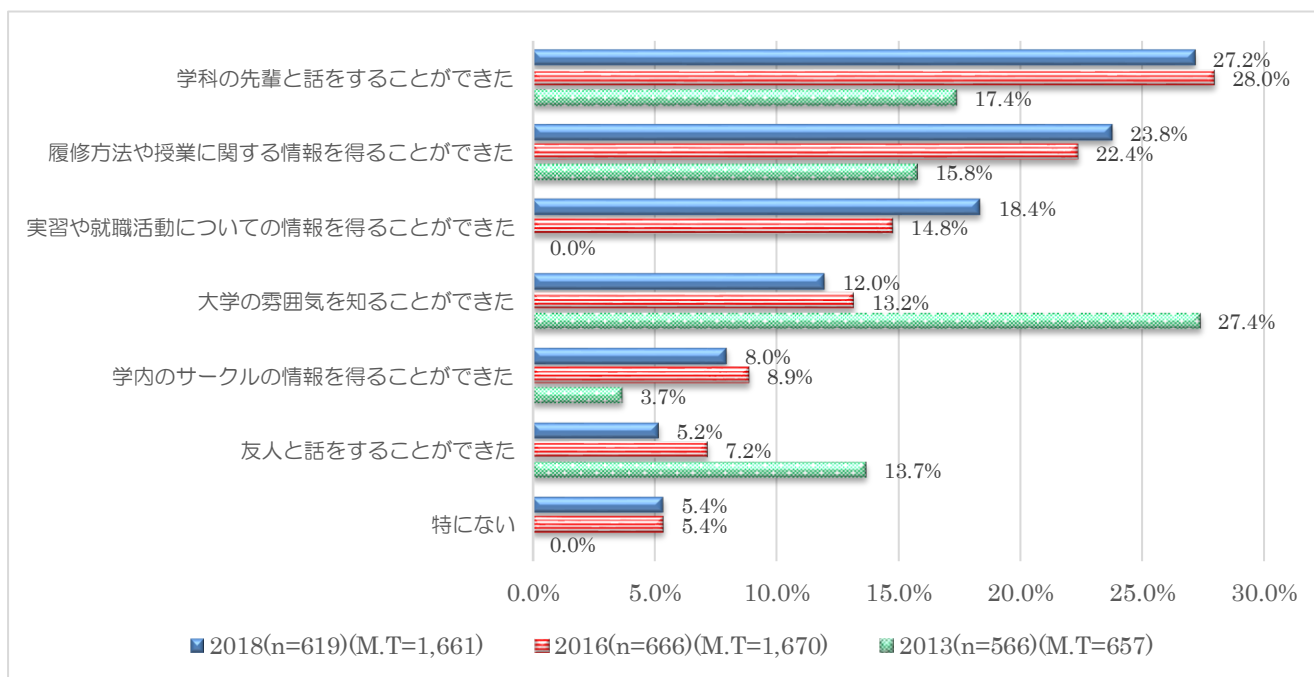
図 14 学生担任との相談内容



②学年間交流について

学年間交流に参加して良かった点として、「学科の先輩と話することができた」、「履修方法や授業に関する情報を得られた」という回答が多かった。

図 15 学年間交流に参加して良かった点

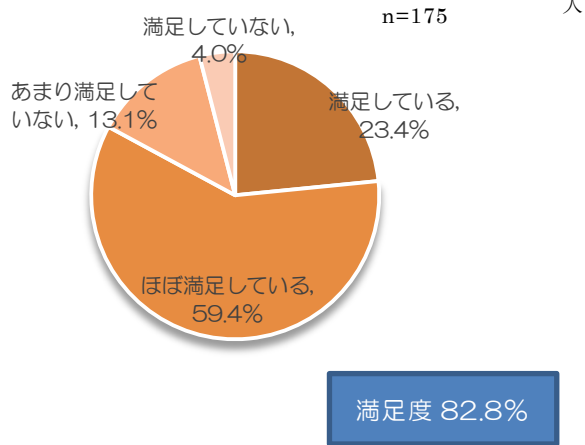


5. 就職支援について

進路支援体制についての質問は4年生を対象に行った（対象者439名）。就職支援体制の満足度は82.8%（前回82.8%）であった。

就職資料室については、82.6%が利用したことがあるという回答であった。

図16 大学の就職支援体制の満足度



満足していない理由（複数回答）

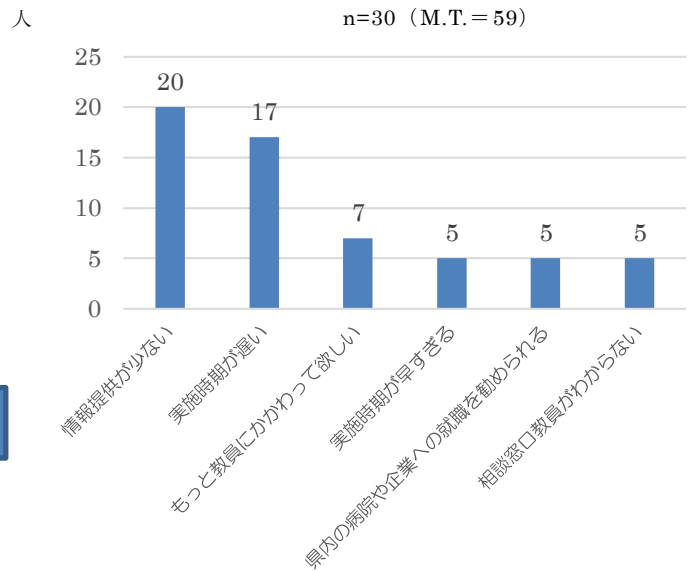
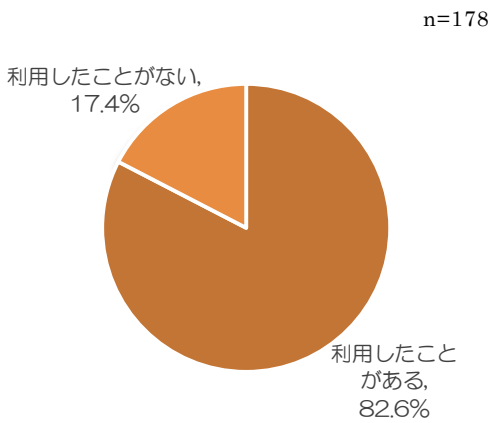


図17 就職資料室の利用状況



6. 学生生活全般に対する満足度と大学に対する好感度

学生生活全般に対する満足度は 90.7%（前回 87.8%）、大学の好感度は 89.3%（前回 87.1%）と、いずれも高評価であった。

図 18 学生生活の満足度

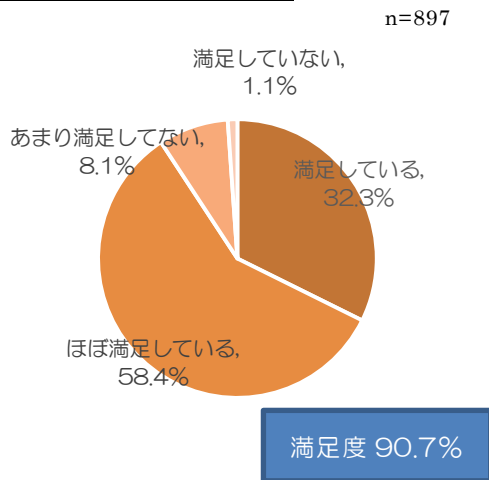


図 19 大学に対する好感度

